



全国曹洞宗青年会の 活動紹介(四十七)

全国曹洞宗青年会 創立五十周年記念事業

五十周年記念事業実行委員長 森井 宗淳

昭和五十年に創立した全国曹洞宗青年会(以下、全曹青)は、今期創立五十周年を迎えます。この大きな節目を迎えることができるのは、これまで諸先輩方が大事に繋いでこられたおかげです。創立時に生まれていない私が、当時の資料や広報誌、そして伝え聞いたことから考えると、当初から大変なご苦労があったと推察できます。個々に青年会がある地域、まだ発足されていない地域など様ざまな中、全国の青年僧侶を集めて活動を行うことは、賛否もあり足並みを揃えることは容易ではなかったはず。そうした創立期を経



創設五〇周年ロゴマーク
全国の力がうねりながら和合し、
も上進し、無限の可能性を表現
も上進し、無限の可能性を表現

て、長きに亘り継続してきた活動が、現在では文字通り全国、そして宗派の垣根を越えて世界へと広がりました。五十周年を迎える第二十五期では、全曹青が現在も活動を行えることへの感謝と、報恩の想いを全国の青年僧侶とともに未来へ繋ぐ

ために、創立五十周年記念事業を企画しております。記念事業は、「両大本山拝登」・「全国災害復興支援活動研修会」・「禅のつどい」の三本の柱を軸に展開してまいります。一つ目に、活動を続けてこられた感謝と報告を行うため、両大本山へ拝登いたします。そして、これまでの活動で戦災や自然災害など様ざまな出来事を経してきたことを鑑み、今後の未来に対して安寧を願う青年僧侶の祈りの行事ともさせていただきます。まずは、令和五年一月二十九日に大本山總持寺への拝登を予定しており、全曹

青第二期会長であられる石附周行
紫雲臺殿下に御親修賜り世界平和
大祈祷諷経を勤めます。



五十周年を迎える全曹青執行部

二つ目に、全国災害復興支援活動
研修会を開催いたします。青年
僧侶だからこそ、災害時には実働
部隊として率先し支援活動をして

まいりました。最近では、東日本
大震災の際には特に全国の青年僧
侶が協力し合いました。しかし当
時から十二年が経ち、年齢制限の
ある青年会は入れ替わりが早く、
さらにこの三年はコロナ禍の影響
で行き来が制限されたことで、ど
のように復興支援をすれば良いか
わからなくなっているとの声も耳
にします。この機に、全曹青が繋
いできた災害復興支援に対する経
験と想いをもとに、全国九管区す
べてで行います。

三つ目に、禅のつどいを開催い
たします。創立の機縁には禅のつ
どい運動が大きく関
わっており、今現在も
全国各地で行われてお
ります。今一度全曹青
としても原点に立ち返
り、創立理念である大
衆教化の接点を求め、同じ時を過
ごしたいと存じます。

第二十五期は始動したばかりで
すが、全曹青の五十年を振り返る事
業となります。これからの社会を
担う青年僧侶の連絡協議体として、
より加盟される会が増え、全国の
青年僧侶が力を合わせていく縁と
なれるよう全力で取り組みます。

わっており、今現在も
全国各地で行われてお
ります。今一度全曹青
としても原点に立ち返
り、創立理念である大



●執筆者プロフィール

森井宗淳

五十周年記念事業実行委員長
いずも曹洞宗青年会所属



創立五十周年
記念事業
ホームページは
こちらの
二次元コードより